

令和7年第9回定例教育委員会会議

日 時 令和7年9月30日 (火)
午後1時30分から
場 所 中央図書館 2階 視聴覚ホール

議 題

日程第一 議事事項

議案第22号 令和8年度当初教職員人事異動方針・細部事項について

日程第二 報告事項

- (1) 全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査の結果について
- (3) 令和7年度いじめのない学校づくり子ども会議の報告について
- (4) 令和7年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について
- (5) 第3回小学生ロボコン・富士見市大会について
- (6) その他
・社会科展の開催について

議案第22号

令和8年度当初教職員人事異動方針・細部事項について
令和8年度当初教職員人事異動に係る富士見市教育委員会の方針を別添のとおり定
める。

令和7年9月30日提出

富士見市教育委員会
教育長 山口武士

提案理由

令和8年度当初教職員人事異動を行うにあたり、本市の人事異動方針・細部事項を
定めたいので、この案を提出します。

令和8年度当初富士見市教職員人事異動の方針

1 基本方針

- (1) 教育界の活性化を図り、気風を刷新して教育効果を高めるため、人材を抜擢し、適材を適時に適所に配置することを基本に異動を推進する。
- (2) 教育界の人材育成を期して、教職員の視野を広め職務経験を豊かにするための異動を推進する。
- (3) 教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努め、地域差・学校差を是正する。
- (4) 教育水準の向上を図るため、長期的展望に立って、計画的に異動を実施する。
- (5) 新規採用教職員については、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して適切な配置に努める。
- (6) 役職定年後の教職員及び再任用職員については、豊かな経験を生かすとともに、調和のとれた学校運営に資するため、適切な配置に努める。
- (7) 教職員の個々の能力、適性等を考慮し、積極的な登用に努める。
- (8) 障害のある教職員については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮し、適切な配置に努める。

2 転任・転補

- (1) 魅力ある学校づくりを推進するため、教職員の特性、能力、勤務実績及び職務経験並びに各学校の教職員構成及び地域社会との関係を考慮して、適材を適時に適所に配置する。
- (2) 人事異動にあたっては、教職員組織の充実を図るため、学校間の教職員の性別、年齢、教科等の構成の均衡に配慮する。
- (3) 教職員の視野を広め職務経験を豊かにするとともに、学校の活力を高めるため、新規採用後早期に複数校を経験するよう、積極的に異動を行う。
- (4) 学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、同一校勤続年数の長い者については、積極的に異動を行う。
- (5) 配当定員に対して欠員を生ずる場合は、西部教育事務所、他市町村教育委員会の協力を得て、その補充に努める。
- (6) 配当定員に対して過員を生ずる場合は、その調整のための異動を優先するなど、児童、生徒の減少に伴う人事を重点的に行う。

(7) 校長、教頭及び主幹教諭については、学校の活性化を図るため、勤務の実績及び能力等を考慮し、広域的な異動を行う。

3 期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童、生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

令和8年度当初富士見市立学校教職員人事異動方針細部事項

令和8年度当初富士見市立学校教職員人事異動は、「令和8年度当初富士見市教職員人事異動の方針」に基づき、次に掲げる各項目に従い実施する。

1 基本方針関係

(1) 新規採用教職員

新規採用教職員の配置については、採用候補者名簿に登載された者の中から、人材育成の観点及び学校間の教職員組織の均衡を勘案して行う。

(2) 再任用職員

再任用職員については、従前の勤務実績等に基づく選考により再任用する。

なお、再任用に当たっては、当分の間、退職時における勤務校を所管する教育委員会の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難い場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

(3) 役職定年後の教職員

役職定年後の教職員は、当分の間、役職定年時における勤務校を所管する市町村教育委員の管内への配置を原則とする。ただし、これにより難い場合は、広域的な異動により適切に配置を行う。

2 転任・転補関係

(1) 転任・転補については、教職員の意向を把握し、人事異動方針及び細部事項に基づいて行う。

(2) 教職員の視野を広げ、職務経験を豊かにするため、市町村間の異動を積極的に行うとともに、校種間の人事交流に努める。

(3) 次の教員（教頭及び主幹教諭を除く。）、事務職員、学校栄養職員については、原則として異動を行わない。

ア 同一校在職3年未満の者

イ 産休・育休等を取得中及び妊娠中の者

ウ 休職中の者

(4) 経験豊かな教職員（教頭及び主幹教諭を除く。）の異動については、各学校の教職員構成及び学校運営の適正化を図るため、計画的に推進する。

特に、教頭候補者名簿登載者の異動を積極的に行う。

(5) 事務職員については、職務経験等を考慮した計画的、積極的な異動を行う。

特に、事務主幹については、同一校に複数配置をすることのないよう異動を行う。

(6) 学校栄養職員については、職務経験等を考慮し、計画的、積極的な異動を行う。

(7) 新規採用の教員、事務職員及び学校栄養職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後6年以内に異動を行う。

その際、原則として他市町村間の異動を行う。

(8) 学校の気風の停滞を防ぐとともに、職務経験を豊かにするため、教員、事務職員及び学校栄養職員は、同一校在職10年以内に異動を行う。

特に、7年以上の者については、積極的に異動を行う。

(9) 欠員を補充するための異動については、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

(10) 過員を調整するための異動については、優先して行う。

特に、市町村間、教育事務所間、校種間の異動も含め、重点的に行う。

また、小・中・特別支援学校間の異動については、資格及び特性等を考慮して積極的に行う。

(11) 管理職の異動については、学校の効率的運営と適正な管理が行われるよう、年齢・経験年数・特性等を考慮して行う。

また、原則として、校長・教頭の同時異動は行わない。

(12) 地域差・学校差の是正を図るため、校種及び学校規模等を配慮し、市町村間・教育事務所間の異動を行う。

(13) 魅力ある学校づくりを推進するために、市町村間の異動に努める。

(14) 小中学校9年間を一貫した教育及び特別支援教育の推進を図るために、小・中・特別支援学校間の異動に努める。

(15) 教職員の異動については、個々の能力が十分に発揮できるよう配慮する。

(16) 障害のある教職員の異動については、個々の障害の状況、能力、適性等を考慮して行う。

(17) 教職員の心身の状況に応じて、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

(18) 子育てや介護など、教職員の家庭状況に応じ、可能な範囲で人事上の配慮を行う。

3 期限付人事交流

教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実を目指し、別紙「令和8年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領」に基づき、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員との期限付人事交流を積極的に行う。

4 その他

(1) 長期的展望に立った人事異動計画の立案と実施について

教育委員会及び校長は、各学校の教職員構成の適正化に配慮し、長期的展望に立った人事異動計画を立案する。

(2) 退職

ア 定年退職については、職員の定年等に関する条例の定めるところによるものとする。

イ 効用退職については、学校職員効用退職取扱要綱に定めるところによるものとする。

令和7年度、退職の効用は原則行わない。ただし、効用退職制度を廃止するものではないことから、退職を願い出た者の中で、当該制度の趣旨に沿う場合には柔軟に対応する。

なお、学校職員効用退職取扱要綱第2の「教育長が定める期日」は、令和7年12月8日とする。

(3) 降任

ア 管理職の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に基づき行う。

イ 主幹教諭の希望による降任については、「校長、副校長及び教頭の希望による降任制度実施要綱」に準じて行う。

令和8年度当初教員人事異動における富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の期限付人事交流に関する実施要領

1 趣旨

この要領は、富士見市立小・中学校教員と富士見市立富士見特別支援学校教員の人事交流を通して、教員としての視野を広め資質の向上を図るとともに、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な教育的指導・支援を行う特別支援教育の充実に資することを目的として、期限付人事交流に必要な事項を定めるものである。

2 交流の方法

富士見市教育委員会(以下、「教育委員会」という)は、富士見市立小・中学校(以下、「小・中学校」という)、富士見市立富士見特別支援学校(以下、「富士見特別支援学校」という)との連携、協力を図り、校長から推薦された者の中から、期限付人事交流の対象者を決定する。

3 交流の期間

期間は、原則として3年とする。

4 交流対象者

交流に基づく配属先となる学校に必要な小学校又は中学校の教諭の普通免許状を所有し、異校種での勤務を希望する意欲のある教員のうち、校長の推薦に基づき、教育委員会が適当と認めた者。

5 実施手続き

(1) 手続き

ア 小・中学校の場合

小・中学校長は、「富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書」(様式1-1小学校、様式1-2中学校)に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

イ 富士見特別支援学校の場合

富士見特別支援学校長は、「富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書」(様式2)に推薦する人物の「人事に関する調書」の写しを添付し、教育委員会へ提出する。

(2) 提出期限

令和8年度当初人事関係書類提出日

様式1－1（小学校）

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和　年　月　日

（宛先）富士見市教育委員会教育長

富士見市立　　小学校
校　長

令和8年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏　名	年齢	勤務校 年　数	所　　見 (主な校務分掌・研修歴等)	備考

様式1－2（中学校）

富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流推薦書

令和　年　月　日

（宛先）富士見市教育委員会教育長

富士見市立　中学校
校　長

令和8年度当初人事における、富士見市立富士見特別支援学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏　名	年齢	教科	勤務校 年　数	所　見 (主な校務分掌・研修歴等)	備考

様式2

富士見市立小・中学校との期限付人事交流推薦書

令和　年　月　日

(宛先) 富士見市教育委員会教育長

富士見市立富士見特別支援学校

校長

令和8年度当初人事における、富士見市立小・中学校との期限付人事交流について、下記の職員を推薦いたします。

記

職名	氏名	年齢	学部	勤務校年数	所見 (主な校務分掌・研修歴等)	異動希望校種	備考

全国学力・学習状況調査の結果について

調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査概要

- 実施日 令和7年4月14日(月)～17日(木)
- 調査対象 ①児童生徒：小学校6年生、中学校3年生
②学校：小学校等（約19,000校）、中学校等（約10,000校）
- 調査事項 ①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、理科〕
：質問調査
②学校：質問調査
- 調査問題 ①学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題。
②学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を実施。
- その他 ①中学校理科でCBTを導入

① 平均正答率（小学校）

（令和7年度）

単位（%） 太字：全国値以上

（令和6年度）

国語		全国(公立)	埼玉県	富士見市	国語		全国(公立)	埼玉県	富士見市
学習指導要領の 内容別平均正答率	平均正答率	58.0	68	66	平均正答率	67.7	69	65	
	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9	77.5	74.0	言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4	61.7	64.4	
	情報の扱い方	63.1	64.8	64.4	話すこと・聞くこと	59.8	59.4	59.8	
	我が国の言語文化	81.2	81.5	79.4	書くこと	68.4	65.4	68.4	
	話すこと・聞くこと	66.3	67.3	65.7	読むこと	70.7	66.8	70.7	
	書くこと	69.5	71.1	70.3					
	読むこと	57.5	58.4	56.4					
算 数		全国(公立)	埼玉県	富士見市	算 数	全国(公立)	埼玉県	富士見市	
学習指導要領の 内容別平均正答率	平均正答率	58.0	58	56	平均正答率	63.4	64	65	
	数と計算	62.3	63.1	60.8	数と計算	66.0	61.7	66.0	
	図形	56.2	54.7	53.2	図形	66.3	59.4	66.3	
	測定	54.8	53.9	51.9	変化と関係	51.7	65.4	51.7	
	変化と関係	57.5	57.9	56.6	データの活用	61.8	66.8	61.8	
理 科		全国(公立)	埼玉県	富士見市					
学習指導要領の 内容別平均正答率	平均正答率	57.1	58	56					
	エネルギー	46.7	46.6	45.4					
	粒子	51.4	52.7	51.2					
	生命	52.0	53.1	48.6					
	地球	66.7	67.7	65.8					

○向上が見られる点 ●課題

【全科目共通】

- 国語・算数・理科ともに全体の平均正答率は、県をやや下回っている。

【国語】

- 「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」の領域において、平均正答率が全国を上回っており、全体の平均正答率においても全国とほぼ同等である。

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が全国を約3%下回っている。

【算数】

- 「数と計算」「データの活用」の領域において、全国との平均正答率の差が小さい。

- 「図形」「測定」の領域において、平均正答率が他領域と比べて差があり、約3%下回っている。

【理科】

- A区分「粒子」を柱とする領域において、おおむね同等の平均正答率であった。

- B区分「生命」を柱とする領域において、平均正答率が全国を約3%下回っている。

【考察】

- ◎小・中学校ともに国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られるが、漢字や文法を覚えるのみでなく、授業の中で活用することで定着を図りたい。
- ◎小学校算数の「図形」「測定」については、課題解決の際に、量についての実感を伴わせる授業展開が求められる。

① 平均正答率（中学校）※理科のみIRTスコア

令和7年度

単位（%）

太字：全国値以上

令和6年度

国語	全国(公立)	埼玉県	富士見市
平均正答率	54.3	55	55
言葉の特徴や使い方に関する事項	48.1	48.5	47.4
学習指導要領の 内容別平均正答率	話すこと・聞くこと	53.2	54.0
	書くこと	52.8	53.0
	読むこと	62.3	63.7

国語	全国(公立)	埼玉県	富士見市
平均正答率	58.1	59	59
言葉の特徴や使い方に関する事項	59.2	59.7	59.9
学習指導要領の 内容別平均正答率	話すこと・聞くこと	58.8	59.1
	書くこと	65.3	66.8
	読むこと	47.9	50.4

数学	全国(公立)	埼玉県	富士見市
平均正答率	48.3	50	51
学習指導要領の 内容別平均正答率	数と式	43.5	45.8
	図形	46.5	51.2
	関数	48.2	49.7
	データの活用	58.6	59.4

数学	全国(公立)	埼玉県	富士見市
平均正答率	52.5	53	53
学習指導要領の 内容別平均正答率	数と式	51.1	51.1
	図形	40.3	42.4
	関数	60.7	61.1
	データの活用	55.5	57.1

(単位 IRT スコア)

理科	全国(公立)	埼玉県	富士見市
平均 IRT スコア※1	503	502	497
学習指導要領の 内容別平均正答率	エネルギー	56.1	58.0
※2	粒子	61.7	59.4
	生命	44.8	39.7
	地球	37.3	37.8

※1 IRT (Item Response Theory: 項目反応理論) スコア…各設問の正誤パターンの状況をもとに、学力を 500 を基準にした得点で表すもの。

※2 調査を受けた生徒の総数による算出ではなく、公開問題を回答した生徒の平均正答率。

【国語】

- 全国の平均正答率より高く、県とは同等である。
- 「読むこと」の領域の平均正答率が、全国と県を上回っている。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が全国をやや下回っている。

【数学】

- 全国・県の平均正答率を上回っている。
 - すべての項目の平均正答率が、全国よりも高い。
 - 「図形」の領域の平均正答率が、全国と県と比較し最も上回っている。
- (全国より 4.7 %高い、県より 2.5 %高い)

【理科】

- 全国、県の平均正答率と同等である。
- 「生命」を柱とする領域の平均正答率が、すべて全国、県より最も下回っている。

②平均正答率の経年変化（令和4～7年度）

令和7年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	66.8	68	66	-0.8
算数	58.0	58	56	-2.0
理科	57.1	58	56	-1.1

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	54	55	55	1
数学	48.3	50	51	2.7
理科	503	502	497	-6

R7理科=平均IRTスコア

令和6年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.7	69	65	-2.7
算数	63.4	64	61	-2.4

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	58.1	59	59	0.9
数学	52.5	53	53	0.5

令和5年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	67.2	68	65	-2.2
算数	62.5	62	60	-2.5

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	69.8	71	71	1.2
数学	51.0	52	55	4.0
英語	45.6	46	47	1.4

令和4年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	65.6	67	65	-0.6
算数	63.2	64	62	-1.2
理科	63.3	65	62	-1.3

平均正答率(%)

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	69	70	69	0
数学	51.4	52	51	-0.4
理科	49.3	49	47	-2.3

…全国平均を上回っているもの

●小学校は、全国平均正答率に届いていない状況がある。

○小学校は、令和5、6年度に比べ、令和7年度は全国平均値との差が縮まっている。

○中学校は、令和5年度以降全国平均正答率を超えてきている。

●中学校は、理科において、全国平均正答率に届いていない状況がある。

【考察】

◎経年変化から、中学校では、学力の定着に一定の成果が見られる。小学校においては、本年度、全国との差が縮まった。今後、学力向上に係る学校の取組において、成果のあった実践を明らかにし、共有・継続できるよう支援に努めていく。

③無回答率 経年変化

令和7年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	3.3	3.4	4.7	1.4
算数	3.6	3.2	4.2	0.6

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	6.7	6.1	5.9	-0.8
数学	10.6	9.9	8.8	-1.8

令和6年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.2	4.0	6.5	2.3
算数	3.4	3.0	4.7	1.3

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	3.9	3.4	3.2	-0.8
数学	11.3	10.7	11.1	-0.2

令和5年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.8	4.4	7.6	2.8
算数	3.4	3.1	5.4	2.0

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.6	4.1	3.5	-1.1
数学	9.6	8.9	7.9	-1.7

令和4年度【小学校6年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	5.7	5.5	7.7	2.0
算数	3.5	3.4	5.0	1.5

【中学校3年生】

	全国	県	富士見市	全国差
国語	4.3	3.8	3.5	-0.8
数学	10.8	10.4	10.4	-0.4

平均無回答率(%)

全国平均を上回っているもの

【小学校】

- 令和7年度の平均無回答率は、全国平均より高いものの、過去3年に比べて全国との差が縮まっている。
- 国語の無回答率が高い傾向がある。

【中学校】

- 全国・県の平均無回答率より低い。
- 過去4年間を含め、全国の平均無回答率より低い。

【考察】

- 無回答率については、中学校の結果から学力との相関が見られている。指導にあたっては、粘り強く課題解決させるとともに、リーディングスキルの向上が求められる。

④質問紙の傾向（小学校）

- 1 「当てはまる」 2 「どちらかといえば、当てはまる」
 3 「どちらかといえば、当てはまらない」 4 「当てはまらない」

令和7年度全国学力・学習状況調査

回答結果集計 [児童質問]

富士見市教育委員会-児童

1段目：教育委員会の児童数の割合(%) 2段目：全国(公立)の児童数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢			
		1	2	3	4
(1)	朝食を毎日食べていますか	84.9 83.3	8.5 10.4	5.2 4.8	1.3 1.6
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	41.3 38.9	43.8 43.0	12.3 15.1	2.6 3.0
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	55.9 55.6	35.0 35.4	7.6 7.6	1.2 1.4
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	61.9 55.3	31.8 36.9	5.1 5.8	1.2 1.9
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	44.5 49.2	47.4 44.5	6.4 5.4	1.6 0.9
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	76.0 81.4	19.7 15.8	3.0 2.1	1.2 0.7
(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	27.6 33.1	37.0 37.5	23.2 20.5	12.3 8.8
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	28.8 33.8	48.3 47.5	16.8 14.2	6.2 4.4
(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	49.6 49.9	41.4 42.0	6.9 6.4	2.1 1.5
(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立て情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	40.8 37.5	41.7 44.8	13.9 14.5	3.5 3.0
(41)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよきを生かして解決方法を決めていますか	41.8 36.5	44.4 46.8	11.2 13.1	2.5 3.3
(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	53.2 55.9	34.4 34.5	8.5 6.7	3.8 2.7
(55)	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	67.6 66.1	24.1 25.5	5.5 5.4	2.6 2.8

※選択肢の1・2を合わせた値を比較（本市○%、全国○%）

○【全国値より本市の数値が高いもしくは近似値のもの】

●【全国値より本市の数値が低く差が大きいもの】

() 内は、質問番号

○規則正しい生活習慣が築けている児童が多い。

- (1)「朝食を毎日食べていますか」 (本市 93.4%、全国 93.7%)
 → (2)「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」 (本市 85.1%、全国 81.9%)
 → (3)「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」 (本市 90.9%、全国 91.0%)

○「困っている人を助けたい」と感じている児童が多い。

- (8)「人が困っているときは進んで助けていますか」 (本市 91.9%、全国 93.7%)

④質問紙の傾向（小学校）

○勉強の大切さを理解している児童が多い。

- (47) 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(本市 87.6%、全国 90.4%)
- (55) 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(本市 91.7%、全国 91.6%)

○課題解決への筋道を立てて、友達と協力しながら授業や学校生活を過ごす児童が多い。

- (39) 「授業や学校生活では、友達や周りの人の考え方を大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」
(本市 91.0%、全国 91.9%)
- (40) 「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」
(本市 82.5%、全国 82.3%)
- (41) 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」
(本市 86.2%、全国 83.3%)

●先生からの関わりが信頼を高めている様子が伺えるが、困りごとがある時に相談できない状況がある。

- (10) 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
(本市 64.6%、全国 70.6%)
- (参考) (6) 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」
(本市 93.7%、全国 92.2%)

●算数の学習は役に立つと考えているが、算数が好きでない部分がある。

- (53) 「算数の勉強は好きですか」
(本市 52.7%、全国 57.9%)
- (参考) (55) 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(本市 91.7%、全国 91.6%)

●地域や社会への関心が薄いところがある。

- (27) 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」
(本市 77.1%、全国 81.3%)

④質問紙の傾向（中学校）

令和7年度全国学力・学習状況調査 回答結果集計 [生徒質問] 富士見市教育委員会一生徒

1段目：教育委員会の生徒数の割合(%)

2段目：全国(公立)の生徒数の割合(%)

質問番号	質問事項	選択肢			
		1	2	3	4
(1)	朝食を毎日食べていますか	77.8 78.7	13.0 12.5	6.3 6.0	2.6 2.6
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	31.6 34.0	49.8 47.0	15.8 16.1	2.5 2.7
(6)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	48.9 46.6	44.8 45.6	4.4 6.0	1.5 1.5
(14)	友達関係に満足していますか	49.5 56.4	41.5 35.0	6.6 6.6	2.3 1.7
(29-3)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか	16.8 21.1	36.2 42.2	38.3 29.8	7.7 5.7
(35)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか	34.3 35.1	51.4 49.6	10.2 10.5	2.2 2.5
(39)	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	44.5 45.5	47.2 46.4	5.5 5.3	1.7 1.3
(41)	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	32.8 32.6	53.2 51.7	10.9 12.3	2.9 2.8
(43)	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	48.0 48.7	45.7 42.8	4.4 6.1	1.6 1.7
(47)	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	47.9 47.8	42.0 40.5	7.1 8.2	2.7 3.0
(55)	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	33.7 34.9	39.2 40.3	17.1 17.0	9.3 7.3
(63)	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	19.4 22.8	39.6 40.6	27.3 25.5	13.4 10.6
(65)	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	13.3 15.9	37.8 38.8	32.9 30.4	15.7 14.3
(66)	理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか	11.9 13.6	34.8 37.1	36.1 34.0	16.8 14.7

※選択肢の1・2を合わせた値を比較（本市○%、全国○%）

○【全国値より本市の数値が高いもしくは近似値のもの】

●【全国値より本市の数値が低く差が大きいもの】

○規則正しい生活習慣が築けている生徒が多い。

→ (1)「朝食を毎日食べていますか」 (本市 90.8%、全国 91.2%)

→ (2)「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」 (本市 81.4%、全国 81.0%)

○教師と生徒がよりよい信頼関係を築けている。

→ (6)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」

(本市 93.7%、全国 92.2%)

→ (38)「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」

(本市 84.7%、全国 83.8%)

④質問紙の傾向（中学校）

○友人関係が良好であり、それが学校生活に生きている。

→（14）「友達関係に満足していますか」（本市91.0%、全国91.4%）

→（35）「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか」

（本市85.7%、全国84.7%）

→（39）「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」

（本市91.7%、全国91.9%）

→（41）「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合って、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

（本市86.0%、全国84.3%）

○国語の学習が将来役立つと考えている生徒が多い。

→（47）「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市89.9%、全国88.3%）

○道徳の授業で、考え、話し合おうとする意識が高い。

→（43）「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合って、互いの意見を出し合って解決方法を決めていますか」（本市93.7%、全国91.5%）

● 学習内容と社会生活との関連が弱い。

→（55）「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市72.9%、全国75.2%）

→（63）「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」（本市59.0%、全国63.4%）

→（65）「理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか」（本市51.1%、全国54.7%）

→（66）「理科の授業で学習した考え方を普段の生活の中で活用できていますか」（本市46.7%、全国50.7%）

●タブレットなどのICT機器の活用率が全国に比べ低い。

→（28）「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」（本市28.7%、全国53.2%）

→（29-3）「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか」（本市53.0%、全国63.3%）

⑤各種指標となっている質問紙調査項目（令和4～7年度）

【小学校】

※下線は、全国値との差を表します。

※**青色セル**は全国値より高いことを表します。

※**黄色セル**は全国値より10%以上低いことを表します。

(単位: %)

質問番号	質問項目	R7		R6		R5		R4	
5	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	47.2	<u>-0.1</u>	40.5	<u>-2.9</u>	38.8	<u>-3.8</u>	38.2	<u>-1.2</u>
7	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	58.4	<u>-2.3</u>	59.9	<u>-0.7</u>	61.2	<u>0.4</u>	56.8	<u>-3.6</u>
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	76.0	<u>-5.4</u>	73.7	<u>-5.8</u>	77.7	<u>-4.9</u>	80.3	<u>-3.3</u>
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	61.9	<u>6.3</u>	53.0	<u>4.2</u>	52.8	<u>2.9</u>	40.2	<u>-6.1</u>
28	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	19.0	<u>-5.5</u>	15.7	<u>-9.6</u>	18.7	<u>-9.5</u>	15.9	<u>-10.8</u>
32	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	27.9	<u>-1.1</u>	29.6	<u>0.1</u>	31.9	<u>1.4</u>	29.7	<u>-0.8</u>
53	算数の勉強は好きですか。【当てはまる】	29.9	<u>-3.8</u>	30.8	<u>-3.2</u>	28.9	<u>-5.9</u>	32.8	<u>-3.4</u>
56	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。【当てはまる】	48.6	<u>-0.4</u>	73.2	<u>-1.1</u>	73.5	<u>-1.8</u>	73.8	<u>-2.8</u>
54	算数の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	37.3	<u>-4.4</u>	39.4	<u>-5.3</u>	37.6	<u>-7.6</u>	39.7	<u>-5.9</u>
55	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	67.6	<u>1.5</u>	73.0	<u>1.3</u>	71.2	<u>-1.8</u>	71.2	<u>-3.5</u>
算1	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	74.7	<u>0.2</u>	72.2	<u>-6.5</u>	75.3	<u>-5.0</u>	83.3	<u>0.5</u>

【中学校】

※（当てはまる）のみの値

質問番号	質問項目	R7		R6		R5		R4	
5	自分には、よいところがあると思いますか。【当てはまる】	40.9	<u>0.2</u>	38.3	<u>-2.1</u>	36.2	<u>-1.0</u>	39.9	<u>3.9</u>
7	将来の夢や目標を持っていますか。【当てはまる】	34.8	<u>-0.7</u>	34.8	<u>-1.3</u>	38.2	<u>-1.2</u>	39.2	<u>-0.6</u>
9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。【当てはまる】	70.5	<u>-6.6</u>	72.0	<u>-5.5</u>	76.1	<u>-4.2</u>	81.1	<u>-1.5</u>
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。【当てはまる】	48.9	<u>2.3</u>	53.0	<u>8.8</u>	41.7	<u>1.7</u>	41.6	<u>6.7</u>
28	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。【ほぼ毎日】	4.9	<u>-24.6</u>	19.0	<u>-12.0</u>	11.6	<u>-16.5</u>	3.1	<u>-17.5</u>
32	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。【当てはまる】	25.9	<u>2.5</u>	31.7	<u>4.5</u>	27.2	<u>-3.2</u>	34.9	<u>3.7</u>
53	数学の勉強は好きですか。【当てはまる】	29.7	<u>3.2</u>	29.8	<u>0.4</u>	32.1	<u>3.0</u>	29.2	<u>-0.7</u>
56	数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。【当てはまる】	23.5	<u>1.8</u>	50.2	<u>-2.6</u>	49.2	<u>-0.6</u>	50.2	<u>-1.9</u>
54	数学の授業の内容はよく分かりますか。【当てはまる】	31.3	<u>1.2</u>	32.5	<u>-2.6</u>	33.8	<u>-0.1</u>	37.3	<u>1.2</u>
55	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。【当てはまる】	33.7	<u>-1.2</u>	38.6	<u>-1.4</u>	35.6	<u>-3.2</u>	34.3	<u>-6.4</u>
数1	今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように回答しましたか。【全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した】	56.5	<u>1.6</u>	51.1	<u>1.1</u>	60.3	<u>3.2</u>	51.1	<u>-1.9</u>

- (5) 自己肯定感が徐々に高まっている傾向が見られる。
- (9) いじめを否定する態度に課題が感じられる。
- (6) 教師支援を肯定的に捉えている児童・生徒が増加している。
- (28) ICT機器活用率が全国値より低い傾向が続いている。
- (56) (54) 算数・数学の学習に対して、有用性を感じられてきている。
- (数1) 算数・数学の問題に対して、粘り強く取り組む姿勢が見られてきている。

【考察】

- ◎（6）小・中学校において、教師への信頼感が高いことは評価できる。
- （55）中学校において、学習の有用性を感じられていないことに課題がみられるため、体験的な活動や主体的な学びを着実に実践していくことが求められる。
- ◎本市で重要指標としている自己肯定感の高まりについて、徐々に向上が見られている。知識・技能では図れない生きる力の土台として、学習方略や非認知能力とともに大事な資質・能力として児童生徒に育んでいく。

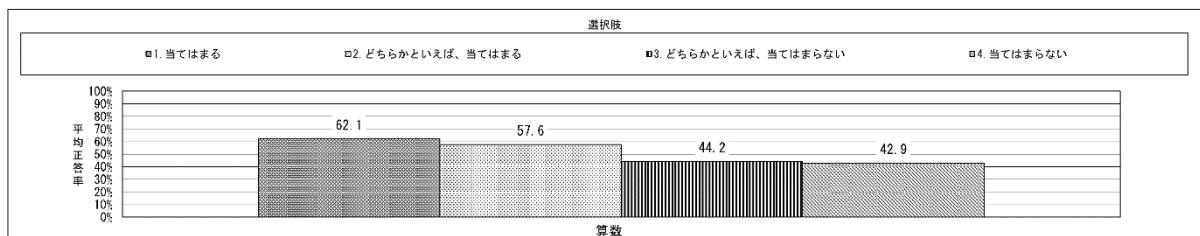
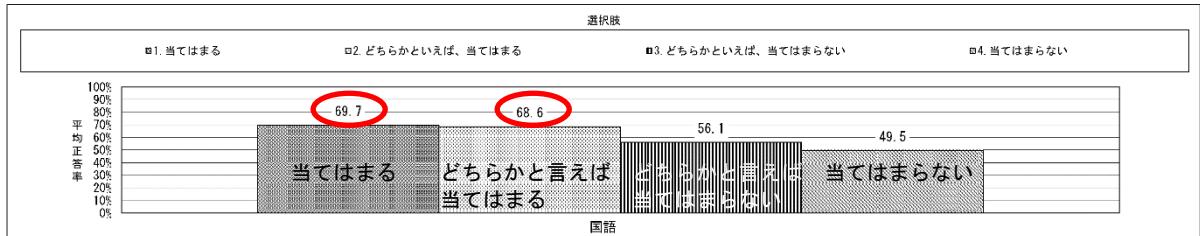
⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

(1)課題の解決に向けて、自分で考え、学び方を自分で工夫している児童生徒は、平均正答率が高い。

令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [児童質問-教科]
富士見市教育委員会-児童

小学校調査

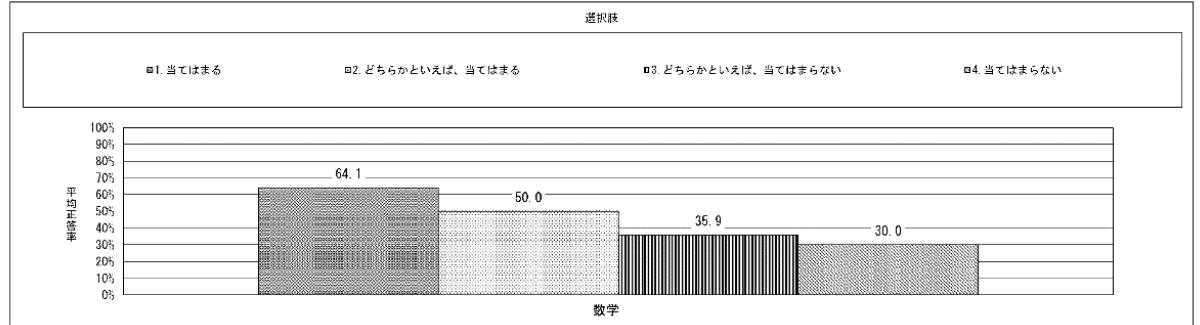
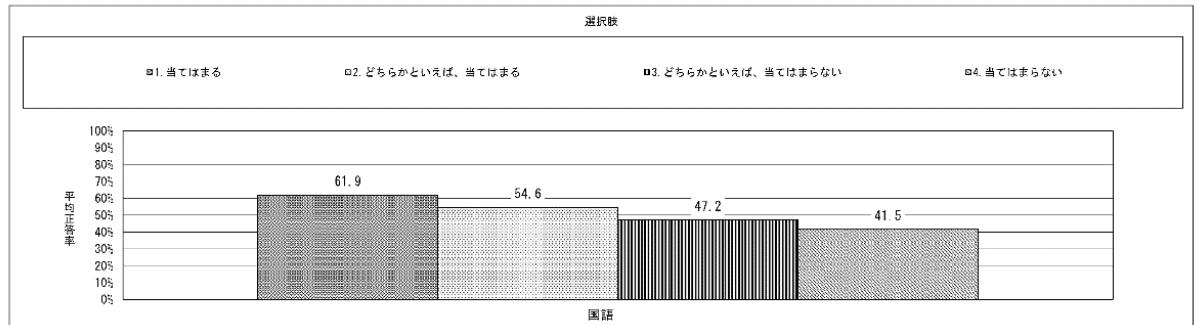
質問番号	質問事項
(32)	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [生徒質問-教科]
富士見市教育委員会-生徒

中学校調査

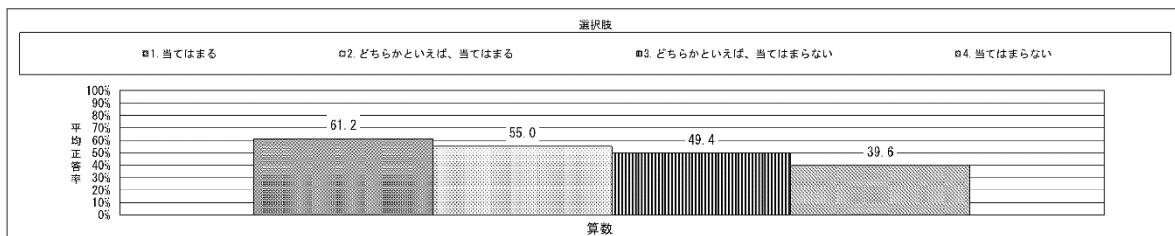
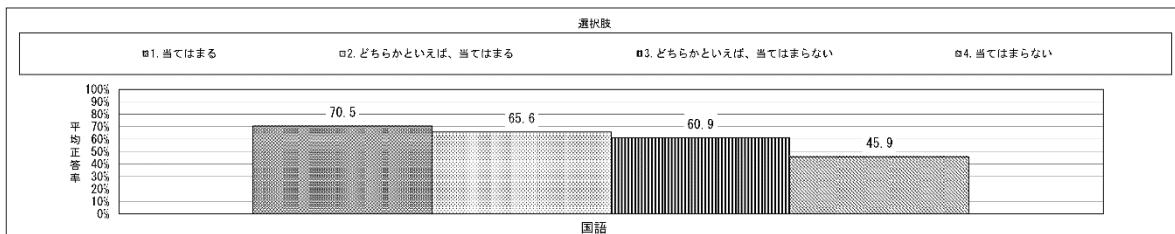
質問番号	質問事項
(32)	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



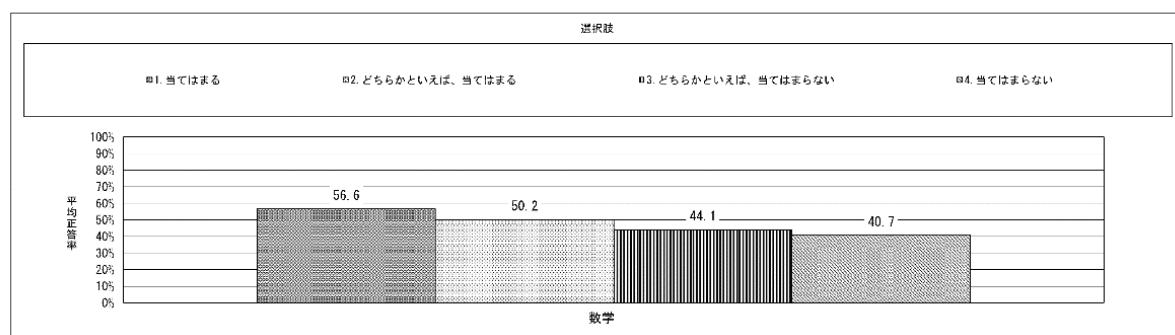
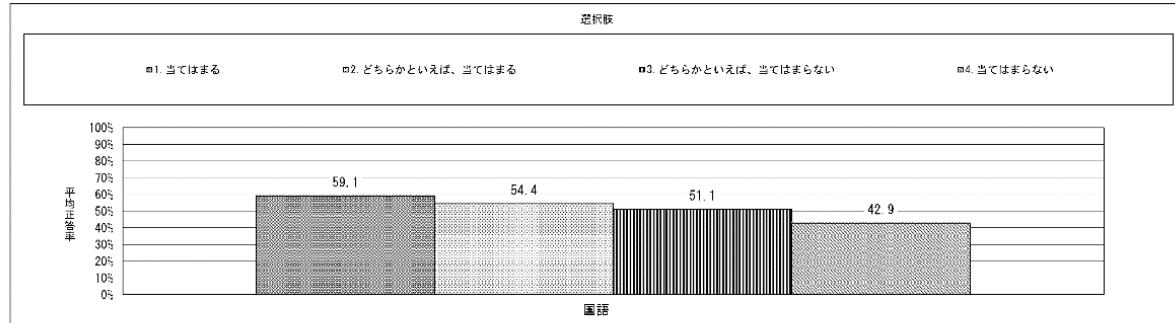
⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

(2) 総合的な学習の時間に、主体的に課題解決を進め、調べたことを発表する学習活動に取り組む児童は、平均正答率が高い。

令和7年度全国学力・学習状況調査 クロス集計 [児童質問一教科] 富士見市教育委員会-児童		小学校調査	
質問番号	質問事項		
(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか		



令和7年度全国学力・学習状況調査 クロス集計 [生徒質問一教科] 富士見市教育委員会-生徒		中学校調査	
質問番号	質問事項		
(40)	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか		

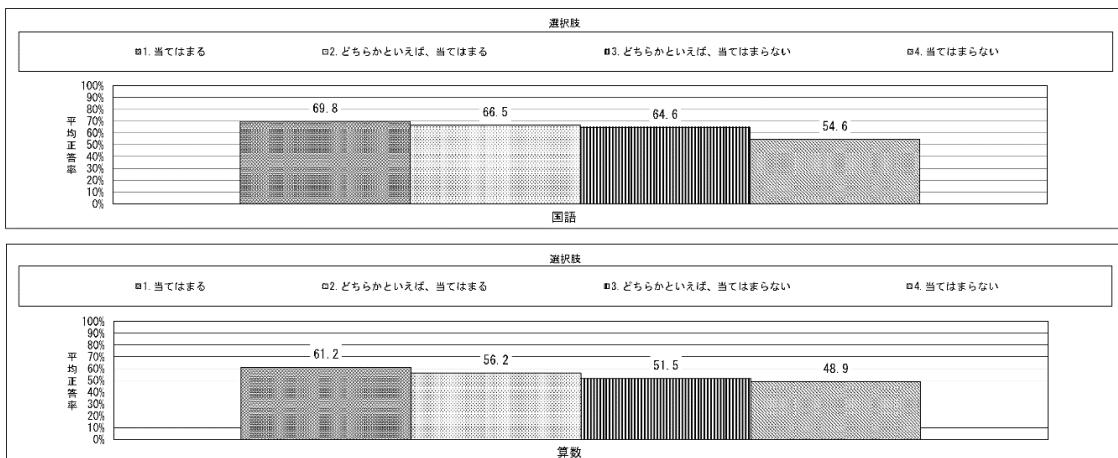


⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

(3) 学習した内容について、振り返りを通して、次の学習につなげている児童生徒は、平均正答率が高い。

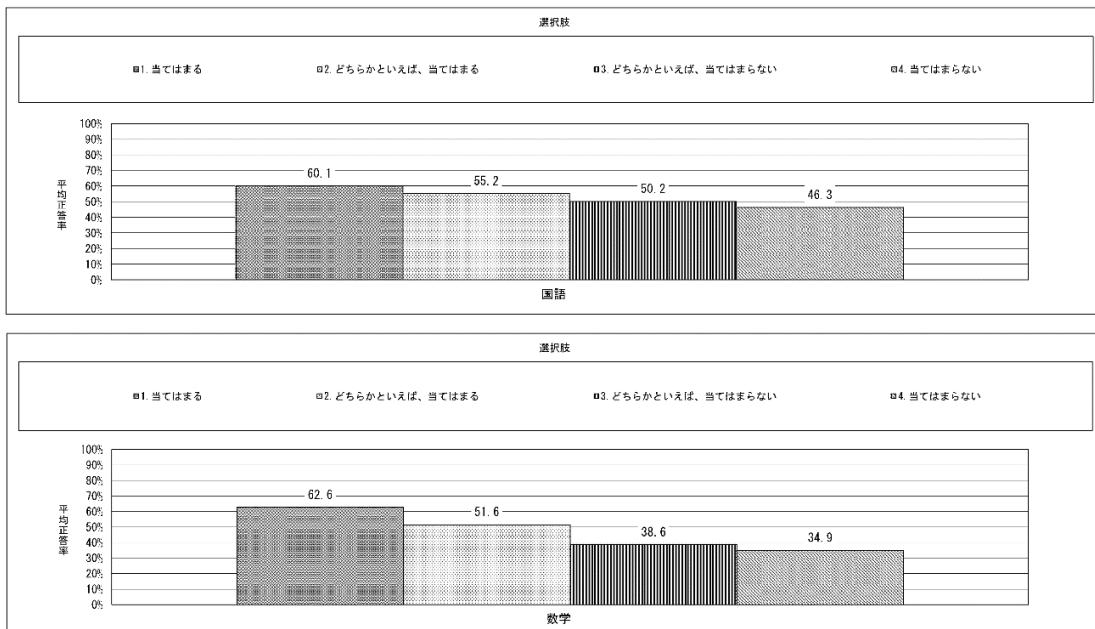
令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [児童質問一教科]
富士見市教育委員会-児童

質問番号		質問事項	小学校調査			
(3 6)		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか				



令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [生徒質問一教科]
富士見市教育委員会-生徒

質問番号		質問事項	中学校調査			
(3 6)		学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか				



【考察】

◎ (3) 学習活動を振り返り、何がわかって、何がわからなかったかを整理して、次の授業に生かしていくことが、学力向上につながると考える。

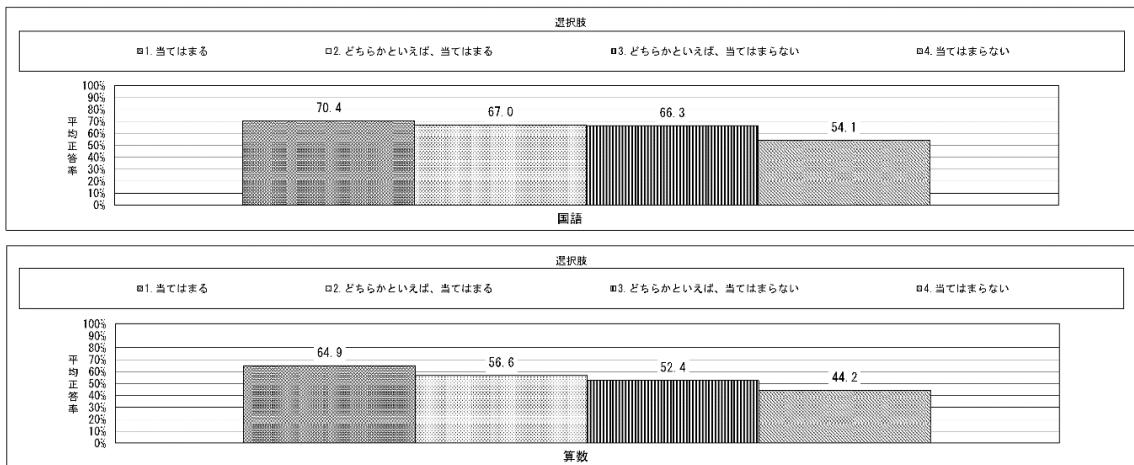
⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

(4) 算数・数学の授業で、考え方を説明する活動をよく行っている児童生徒は、平均正答率が高い。

令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [児童質問ー教科]
富士見市教育委員会ー児童

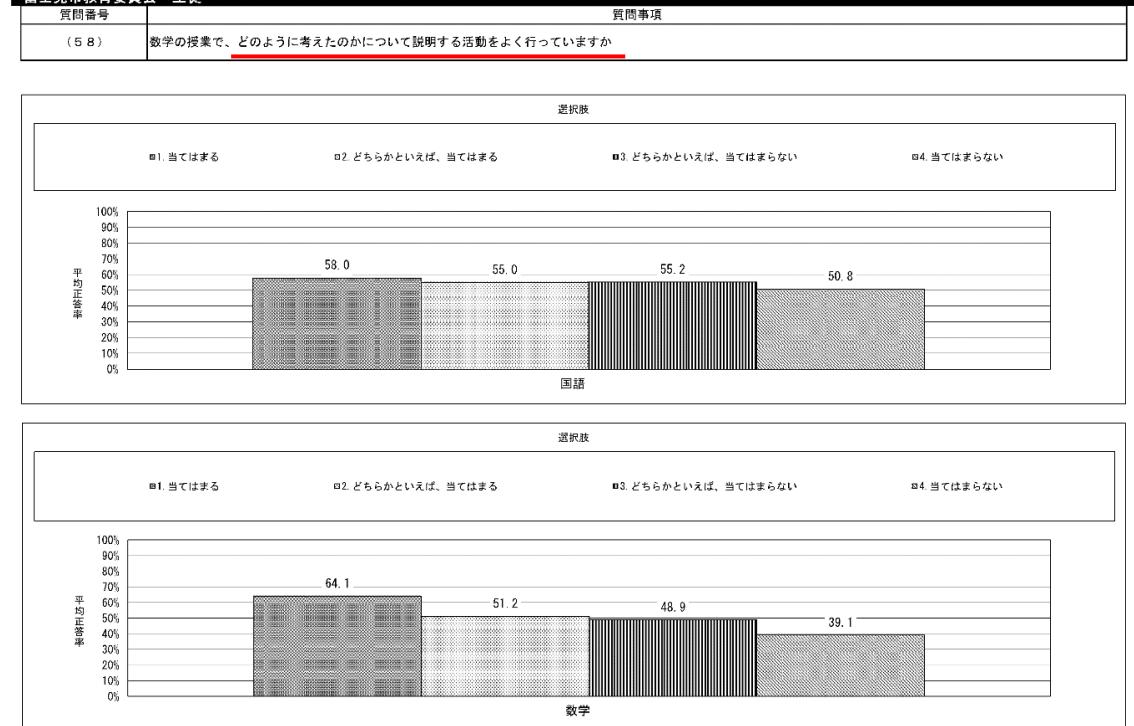
小学校調査

質問番号	質問事項
(58)	算数の授業で、どのように考えたかについて説明する活動をよく行っていますか



令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [生徒質問ー教科]
富士見市教育委員会ー生徒

中学校調査



【考察】

◎ (1) ~ (4) のクロス集計結果より、主体的・対話的で深い学びを実践することが、学力向上に欠かせないことが明らかである。自立した学習者となるには、課題設定から、課題解決、まとめ、振り返りを児童生徒中心に授業展開を図る必要がある。

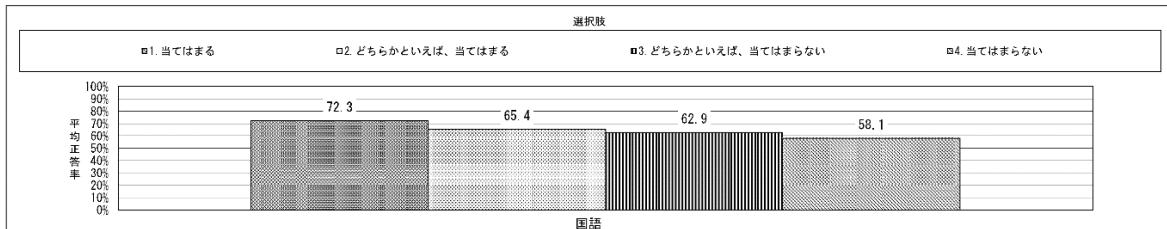
⑥質問紙と学力との相関がみられる項目

(5) 読書が好きな児童生徒は、平均正答率が高い。

令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [児童質問一教科]
富士見市教育委員会-児童

小学校調査

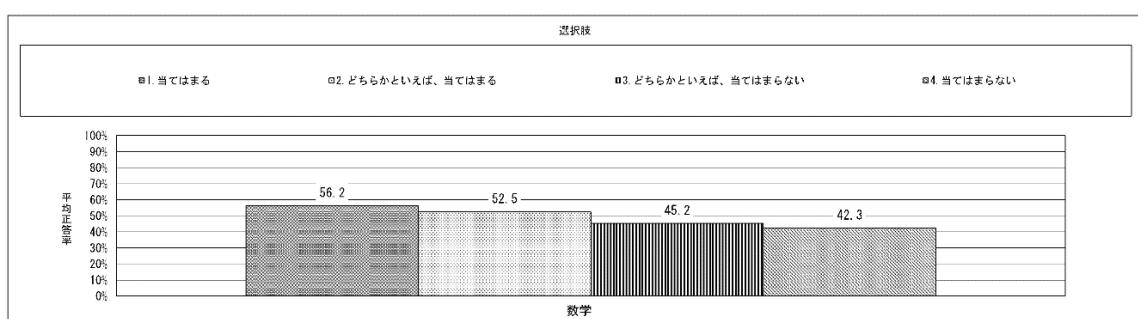
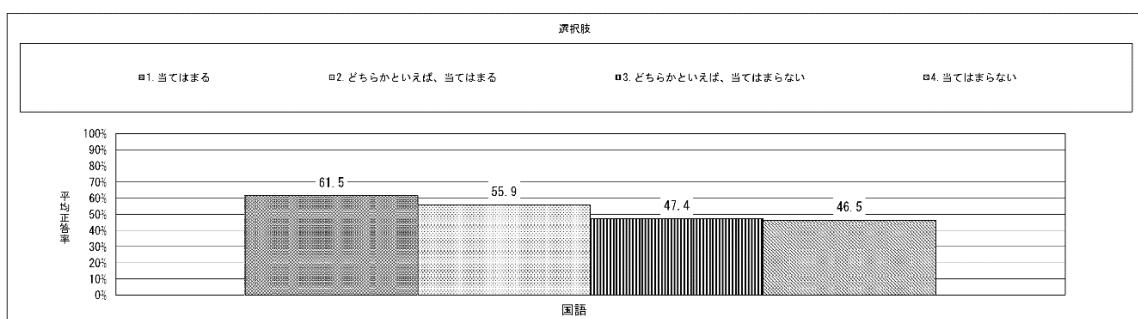
質問番号	質問事項
(24)	読書は好きですか



令和7年度全国学力・学習状況調査
クロス集計 [生徒質問一教科]
富士見市教育委員会-生徒

中学校調査

質問番号	質問事項
(24)	読書は好きですか



【考察】

◎ (5) 読書量と学力の相関があり、文章から自己の考えをもったり、筆者の意図を捉えたりする活動は、思考力向上につながると考える。

埼玉県学力・学習状況調査の結果について

調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する

調査概要

○実施日 令和7年4月30日(水)、5月1日(木)、5月8日(木)

○調査対象 ①児童生徒：小学校4、5、6年生、中学校1、2、3年生
②学校：小学校等（約689校）、中学校等（約355校）

○調査事項 ①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、英語（中2、中3）〕
：質問調査
②学校：質問調査

○調査問題

- ・ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前学年までの内容
- ・ 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

○その他

- ・ 小学校4年から中学校3年まで個人番号で管理し、児童生徒の学力の伸びの経年変化を確認できるため、全国学力・学習状況調査にはない「一人ひとりの学力がどれだけ伸びているのか」という視点で分析が可能である。
- ・ 令和6年度より全面CBTによる実施となった。

① 平均正答率（小学校）

【国語】

小学校 4年生	平均正答率（%）		小学校 5年生	平均正答率（%）		小学校 6年生	平均正答率（%）	
	市	県		市	県		市	県
言葉の特徴・使い方	61.8	62.7	言葉の特徴・使い方	73.9	74.9	言葉の特徴・使い方	68.5	70.0
情報の扱い・言語文化	37.9	41.2	情報の扱い・言語文化	63.1	64.5	情報の扱い・言語文化	69.2	69.9
話・聞・書	42.7	46.1	話・聞・書	45.3	46.4	話・聞・書	49.4	49.9
読む	47.5	50.0	読む	56.3	56.2	読む	44.7	44.2
全体	50.2	52.5	全体	62.1	62.8	全体	58.5	59.3

【算数・数学】

小学校 4年生	平均正答率（%）		小学校 5年生	平均正答率（%）		小学校 6年生	平均正答率（%）	
	市	県		市	県		市	県
数と計算	67.0	67.3	数と計算	52.0	52.0	数と計算	56.8	59.0
図形	64.2	64.9	図形	52.1	52.1	図形	42.8	43.9
変化と関係	67.7	68.2	変化と関係	33.6	36.1	変化と関係	51.0	54.5
データの活用	60.5	62.5	データの活用	43.7	46.5	データの活用	42.3	45.7
全体	65.4	66.2	全体	47.5	48.3	全体	50.0	52.4

県平均より高いまたは同等の値

○向上が見られた点 ●課題点

- 全体の平均正答率においては、国語・算数とともに小学校全学年で県平均を下回っている。
- 国語においては、小5小6で「読む」の領域が県平均を上回っている。
- 国語においては、小4で「言葉の特徴・使い方」「話す・聞く・書く」の領域に課題がみられる。
- 算数においては、小5で「数と計算」「図形」の領域が県と同等である。
- 算数においては、小6で「変化と関係」「データの活用」の領域に課題がみられる。

① 平均正答率（中学校）

中学校 1年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	63.8	65.3
情報の扱い・言語文化	66.3	67.4
話・聞・書	57.7	59.3
読む	57.0	56.8
全体	61.5	62.5

中学校 2年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	59.0	60.4
情報の扱い・言語文化	42.3	43.8
話・聞・書	66.0	65.0
読む	46.8	48.5
全体	53.4	54.6

中学校 3年生	平均正答率（%）	
	市	県
言葉の特徴・使い方	54.9	55.4
情報の扱い・言語文化	63.8	63.6
話・聞・書	53.2	53.0
読む	54.2	54.7
全体	56.8	57.0

中学校 1年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	55.4	58.2
図形	50.4	52.0
変化と関係	45.9	49.4
データの活用	40.9	43.9
全体	49.4	52.0

中学校 2年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	58.0	56.3
図形	41.9	42.2
変化と関係	52.5	54.0
データの活用	51.1	52.1
全体	51.5	51.5

中学校 3年生	平均正答率（%）	
	市	県
数と計算	62.7	60.0
図形	52.1	49.7
変化と関係	54.8	52.8
データの活用	66.1	64.9
全体	58.8	56.7

【英語】

中学校 2年生	平均正答率（%）	
	市	県
聞くこと	73.3	73.6
読むこと	60.3	59.4
話すこと	16.3	18.5
書くこと	56.5	55.7
全体	60.5	60.2

中学校 3年生	平均正答率（%）	
	市	県
聞くこと	57.1	55.8
読むこと	57.5	57.2
話すこと	13.1	12.5
書くこと	36.7	37.0
全体	52.0	51.5

- 全体の平均正答率においては、中2、中3で数学・英語の教科が県平均とくらべて同等以上となっている。
- 国語においては、中2、中3で、「話す・聞く・書く」の領域が県平均を上回っている。
- 国語においては、中1で「言葉の特徴・使い方」の領域に課題がみられる。
- 数学においては、中2、中3で「数と計算」の領域が県平均を上回っている。
- 数学においては、中1で「変化と関係」「データの活用」の領域に課題がみられる。
- 英語においては、中2、中3で「読む」の領域が県平均を上回っている。

【考察】

- ◎小・中学校ともに国語の「言葉の特徴・使い方」に課題が見られるが、基礎的なドリル学習での習得を目指すのではなく、「読むこと」に関連付ける等の学習展開の中で定着を図りたい。
- ◎中2、中3で学力が県と同等以上になっている根拠を明らかにし、質問紙調査と関連付けながら、小中連携の視点から、学力向上を目指したい。

②解答時間

【国語】

小学校		経過時間 (秒)	
4年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	604	528	
情報の扱い・言語文化	437	440	
話・聞・書	826	837	
読む	295	312	
解答時間合計	2163	2117	
見直し時間	126	146	

小学校		経過時間 (秒)	
5年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	427	403	
情報の扱い・言語文化	199	197	
話・聞・書	489	503	
読む	850	842	
解答時間合計	1965	1945	
見直し時間	202	236	

県の時間以上

小学校		経過時間 (秒)	
6年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	478	436	
情報の扱い・言語文化	73	68	
話・聞・書	539	576	
読む	904	906	
解答時間合計	1995	1986	
見直し時間	140	200	

中学校		経過時間 (秒)	
1年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	410	394	
情報の扱い・言語文化	335	338	
話・聞・書	610	623	
読む	828	857	
解答時間合計	2184	2212	
見直し時間	178	263	

中学校		経過時間 (秒)	
2年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	399	399	
情報の扱い・言語文化	520	531	
話・聞・書	529	531	
読む	601	618	
解答時間合計	2049	2079	
見直し時間	234	336	

中学校		経過時間 (秒)	
3年生	市	県	
言葉の特徴・使い方	387	416	
情報の扱い・言語文化	522	555	
話・聞・書	651	635	
読む	666	674	
解答時間合計	2227	2282	
見直し時間	143	160	

【算数・数学】

小学校		経過時間 (秒)	
4年生	市	県	
数と計算	757	694	
図形	254	246	
変化と関係	544	571	
データの活用	368	364	
解答時間合計	1922	1874	
見直し時間	226	251	

小学校		経過時間 (秒)	
5年生	市	県	
数と計算	1004	980	
図形	423	408	
変化と関係	463	493	
データの活用	195	210	
解答時間合計	2086	2091	
見直し時間	130	158	

小学校		経過時間 (秒)	
6年生	市	県	
数と計算	972	899	
図形	536	521	
変化と関係	401	429	
データの活用	215	237	
解答時間合計	2124	2086	
見直し時間	111	146	

中学校		経過時間 (秒)	
1年生	市	県	
数と計算	780	732	
図形	663	670	
変化と関係	519	542	
データの活用	372	396	
解答時間合計	2333	2340	
見直し時間	162	203	

中学校		経過時間 (秒)	
2年生	市	県	
数と計算	734	770	
図形	439	453	
変化と関係	363	376	
データの活用	601	611	
解答時間合計	2136	2210	
見直し時間	162	216	

中学校		経過時間 (秒)	
3年生	市	県	
数と計算	665	710	
図形	582	601	
変化と関係	504	526	
データの活用	317	332	
解答時間合計	2068	2168	
見直し時間	201	206	

※「解答時間」・・・
初めて解答を入力するまでに問題を表示した時間 (秒)
※「見直し時間」・・・
解答を入力した後、再度、その問題のページに戻り、見直し等を行った時間 (秒)

中学校 2年生		経過時間 (秒)	
	市	県	
聞くこと	642	635	
読むこと	776	795	
話すこと	236	231	
書くこと	364	372	
解答時間合計	2018	2032	
見直し時間	221	310	

中学校 3年生		経過時間 (秒)	
	市	県	
聞くこと	728	700	
読むこと	859	889	
話すこと	333	340	
書くこと	273	287	
解答時間合計	2193	2216	
見直し時間	172	196	

- ・小学校で、国語「言葉の特徴・使い方」算数「数と計算」「図形」の解答に時間がかかっている。
- ・中学校で、おおむね解答時間が県より短い。
- 小学校・中学校ともに、見直しの時間が短い。

【考察】

- ◎平均正答率が低い問題において、時間がかかっているが、粘り強く取り組んでいる姿勢もある。
- ◎見直し時間が短いことは、改善が求められるが、授業において、振り返りや自己評価の時間を設定していくことが大切になる。

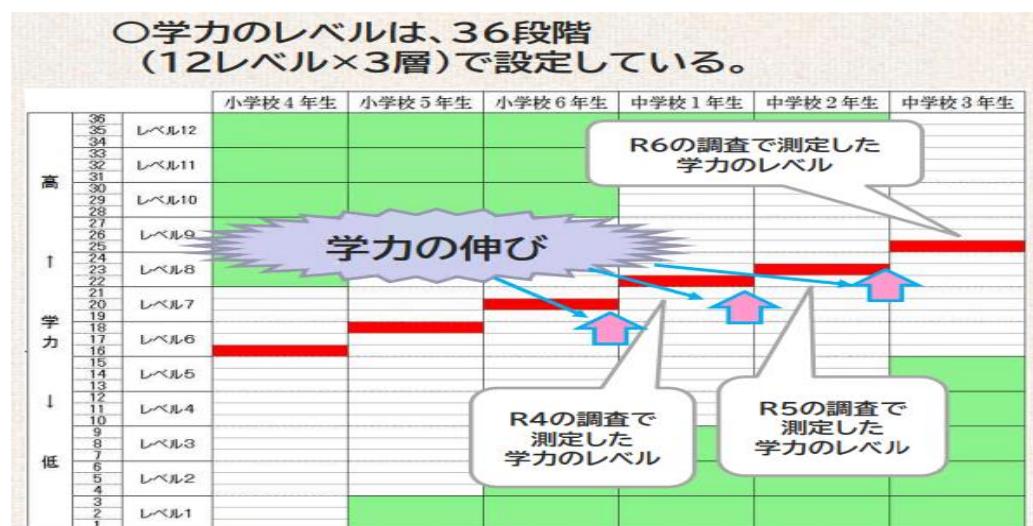
③学力のレベルと伸び（令和2～7年度）

県の数値より 県の数値と同じ数値		国語						算数・数学						英語					
		学力レベル						学力レベル						同集団の1年間の伸び					
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和2年度	令和3年度	平成4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度				
小4	埼玉県						5-B							4-A					
	富士見市						5-C							4-A					
小5	埼玉県					5-B	6-B	3						4-A	5-B	2			
	富士見市					5-C	6-B	4						4-A	5-B	2			
小6	埼玉県			6-C	6-B	7-C	2					5-C	5-B	6-C	2				
	富士見市			6-C	6-B	7-C	2					5-C	5-B	6-C	2				
中1	埼玉県		6-C	7-C	7-C	8-C	3				5-B	6-C	6-B	6-A	1				
	富士見市		5-A	7-C	6-A	7-A	3				5-B	6-C	6-C	6-B	1				
中2	埼玉県	6-A	6-A	7-B	7-A	8-C	1		5-A	6-C	6-B	6-B	7-A	4		9-C			
	富士見市	6-B	6-B	7-A	7-B	8-C	2		5-B	6-C	6-B	6-C	7-A	5		9-C			
中3	埼玉県	6-B	6-A	7-A	8-C	8-C	8-A	2	5-B	6-B	6-A	7-C	7-A	8-B	2	9-C	10-C	3	
	富士見市	6-C	6-A	7-B	7-A	8-C	8-A	2	5-B	6-C	6-A	7-C	8-C	8-B	1	9-C	10-C	3	
同集団の1年間の伸び		小学校国語		中学校国語		国語 計		小学校算数		中学校数学		算・数 計		中学校英語		小学校 計		中学校 計	
		県	5	県	6	県	11	県	4	県	7	県	11	県	3	県	9	県	16
		市	6	市	7	市	13	市	4	市	7	市	11	市	3	市	10	市	17

○国語において、小5、中2で、数学において、中2で県の伸びを上回っている。

●数学において、中3で県の伸びを下回っている。

○小学校・中学校ともに、伸びの合計の値が、県を上回っている。



④学力を伸ばした児童生徒

学力を伸ばした児童生徒の割合(%)

県数値以上

		国語	算数・数学	英語									
		令和7年度	令和7年度	令和7年度	令和6年度	令和6年度	令和6年度	令和5年度	令和5年度	令和5年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
小4	埼玉県												
	富士見市												
小5	埼玉県	80.4	69.6		67.0	56.1		80.2	67.0		55.0	70.0	
	富士見市	84.6	71.0		65.6	55.4		85.8	69.7		56.5	68.6	
小6	埼玉県	66.3	68.3		46.8	54.8		77.7	57.7		76.9	67.5	
	富士見市	69.8	64.5		35.4	45.7		84.0	58.8		79.7	67.4	
中1	埼玉県	83.1	66.5		54.6	51.1		60.5	58.9		70.5	70.8	
	富士見市	84.8	69.5		48.5	47.8		62.8	64.9		69.5	74.5	
中2	埼玉県	64.5	84.6		52.9	73.1		58.8	62.6		65.5	73.1	
	富士見市	65.9	90.9		54.3	80.0		65.2	66.3		70.9	77.7	
中3	埼玉県	74.5	63.8	81.8	66.7	48.1	73.9	55.6	65.2	68.7	62.1	64.2	83.3
	富士見市	75.4	64.3	79.8	63.1	44.6	72.8	60.2	70.3	73.1	62.6	67.5	83.4

- 令和7年度は、学力を伸ばした児童生徒の割合が、多くの項目で県を上回っている。
- 中3の国語・数学で、3年連続（令和5年度中2、令和4年度中1）県の伸ばした割合を上回っている。
- 小6の算数で、2年連続（令和5年度小5）県の伸ばした割合を下回っている。

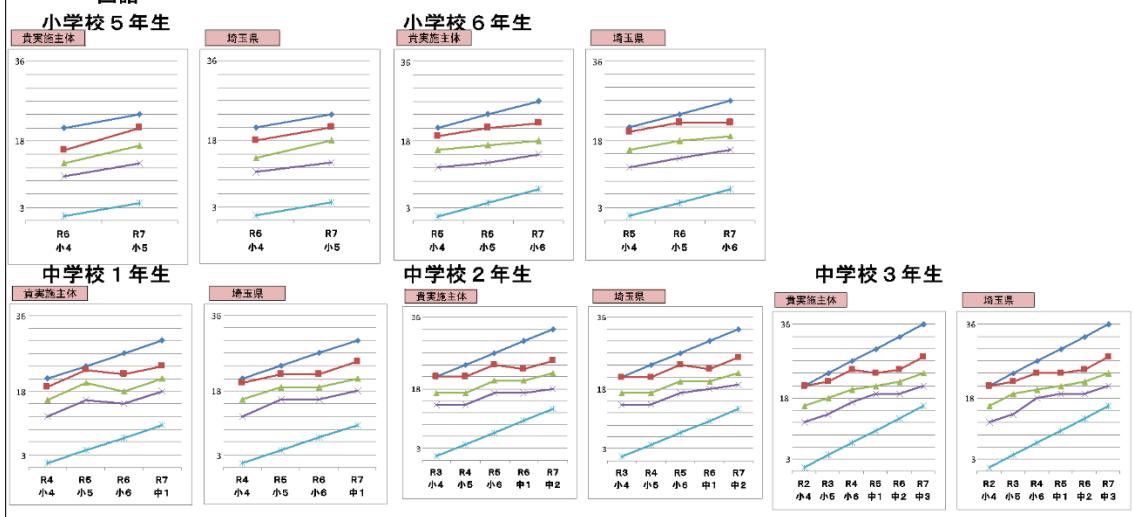
【考察】

- ◎学力レベルと伸びを見ると、令和7年度は、国語の伸びが顕著に見られており、平均正答率は県に届いていないものの、昨年度学力を伸ばせなかった児童生徒が県のレベルに近づいた結果が見て取れる。
- ◎学力を伸ばした児童生徒の割合を見ると、全面C B T化の影響を受けた令和6年度に伸ばしきれなかった児童生徒が、令和7年度は、着実に学力を結果が表れている。

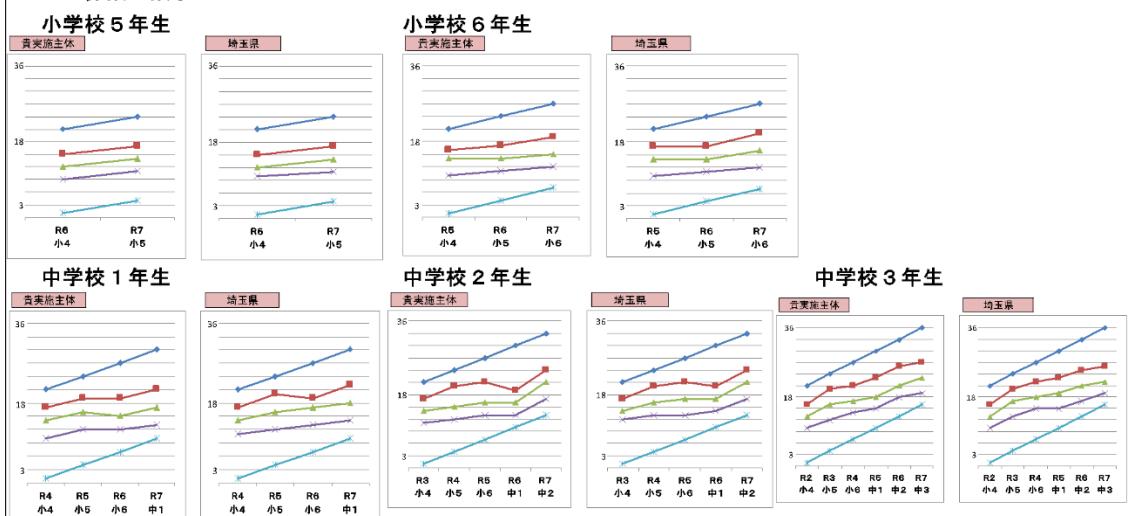
⑤学力の伸び

埼玉県学力・学習状況調査 学力の伸びの状況（帳票26より抜粋）

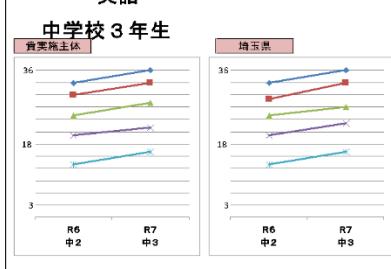
国語



算数・数学



英語



【グラフの見方】

・ グラフの縦軸は、学力レベルを36段階で表しています。また、目盛は個人結果票の学力レベル(12段階)を表しています。

- ◆ ⇒ 最大値(最も学力が高い児童・生徒が属する学力レベル)
- ⇒ 75%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- ▲ ⇒ 中央値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- × ⇒ 25%値(学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%にあたる児童・生徒が属する学力レベル)
- * ⇒ 最小値(最も学力が低い児童・生徒が属する学力レベル)

○小学校・中学校ともに、令和6年度に低下した伸びが令和7年度に回復している。

○中1、中2で、令和7年度の伸び幅が大きい。

●小6算数の上位層、中位層の伸びが県より小さい。

⑥学習方略・非認知能力

小 4年生	県より低い数値		R7結果									
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い 学 ^び	柔軟的	学習方略				非認知能力					
市平均	4.1	3.6	3.6	3.4	3.9	3.9	3.7	3.9				
県平均	4.2	3.8	3.8	3.6	4.1	3.9	3.8	4.0				

小 5年生	R6→R7(変化量)								R7結果							
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性
市平均	0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1	-0.1	-0.3	0.0	4.0	3.4	3.5	3.2	3.8	3.8	3.4	4.0
県平均	0.2	-0.1	-0.1	-0.2	0.0	0.0	-0.2	0.0	4.1	3.6	3.7	3.4	4.0	3.8	3.6	4.0

小 6年生	R6→R7(変化量)								R7結果							
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	自 ^制 心	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	自 ^制 心
市平均	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	-0.1	0.0	4.0	3.6	3.5	3.3	3.9	3.8	3.5	3.8
県平均	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	0.0	4.1	3.7	3.7	3.4	4.0	3.8	3.6	3.9

中 1年生	R6→R7(変化量)								R7結果							
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	や ^り にく ^力	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	や ^り にく ^力
市平均	0.3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	-0.1	-0.1	4.0	3.5	3.5	3.5	3.8	3.8	3.2	2.9
県平均	0.2	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	-0.2	0.0	4.1	3.7	3.7	3.6	4.0	3.8	3.4	3.0

中 2年生	R6→R7(変化量)								R7結果							
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	向社会性
市平均	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.2	-0.2	0.0	3.8	3.6	3.6	3.5	3.8	3.6	3.1	4.0
県平均	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.2	0.0	3.9	3.6	3.5	3.5	3.8	3.6	3.2	4.0

中 3年生	R6→R7(変化量)								R7結果							
	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	勤勉性	主 ^体 的・ 対 ^話 的 で ^深 い	柔軟的	プランニング	作業	認知的	努力調整	自己効力感	勤勉性
市平均	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	-0.1	3.8	3.6	3.5	3.5	3.9	3.6	3.1	3.6
県平均	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	4.0	3.7	3.5	3.6	3.9	3.5	3.2	3.7

○小学校・中学校ともに、努力調整方略が県と同等である。

○小6、中1、中2で、学習方略の変化量が県を上回っている。

●小学校・中学校ともに、主体的な学びが県を下回っている。

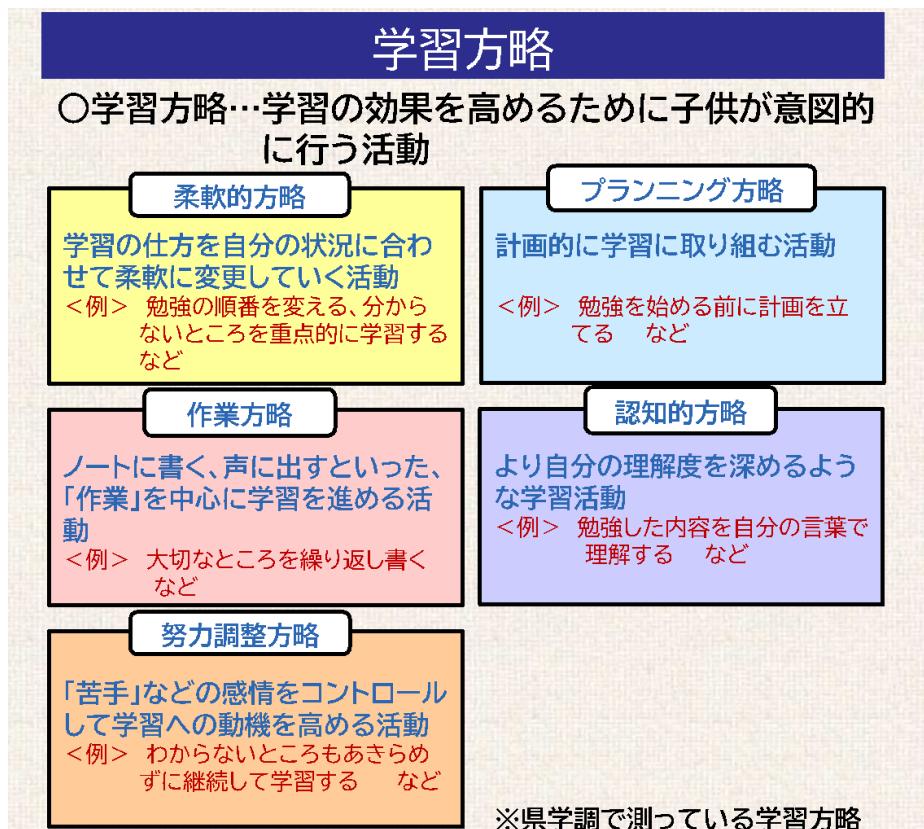
●小5、中3で、学習方略の変化量に課題がみられる。

【考察】

◎主体的・対話的で深い学びを通して、学習方略を身に付けることができるとともに、日々の学級での活動の中で非認知能力が向上するとされる。これらの力は、子どもたちの将来にわたって、社会で生きて働く力であり、児童生徒へ育むべき力として意識して指導にあたる必要がある。今後も、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に努めるとともに、特別活動をはじめとして教育活動全体で取り組んでいく必要がある。

⑥学習方略・非認知能力

【参考資料】



非認知能力

○認知能力…いわゆる学力であり、たし算、漢字の読み書き、文章題、図形の把握などができる力

○非認知能力…認知能力ではない能力全般

自制心	イライラしない、心の平静を保てる など
自己効力感	自分への自信、自己肯定力 など
勤勉性	やるべきことをきちんとやる など
やりぬく力	粘り強い、根気がある など
向社会性	他者を助けようとする など

※県学調で測っている非認知能力

⑦質問紙調査

R 7 県学調 児童生徒質問紙調査より抜粋

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合 (%) ※ は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
勉強する理由 (勉強することが楽しい、好き)	県	33.7	23.7	19.3	16.4	11.6	11.6
	市	34.4	23.9	19.1	16.1	10.4	12.1
自分には、よいところがあると思いますか (思う、どちらかといえば思う)	県	80.7	79.1	77.2	79.3	77.8	80.2
	市	79.9	75.1	77.6	76.4	71.4	77.1
難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している (している、どちらかといえばしている)	県	78.6	77.0	77.4	72.6	68.9	67.2
	市	76.5	71.3	76.5	67.6	66.5	66.0
今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっていますか (もっている、どちらかといえばもっている)	県	73.5	70.5	66.5	57.5	47.5	41.3
	市	72.7	64.2	62.9	48.1	41.1	37.8
将来の夢や目標を持っていますか (もっている、どちらかといえばもっている)	県	90.6	88.5	83.9	83.2	72.6	70.3
	市	91.3	84.6	80.6	80.9	68.4	69.3
学級での生活は楽しかったですか (前学年) (楽しかった、どちらかといえば楽しかった)	県	94.5	92.8	92.3	93.1	94.0	92.8
	市	94.5	89.9	92.4	91.9	93.1	92.3
落ち着いて学習する様子でしたか (前学年) (そうだった、どちらかといえばそうだった)	県	79.3	75.1	74.8	72.7	70.2	76.6
	市	78.1	70.8	76.6	70.6	64.9	76.7
先生は自分のよいところを認めてくれた (前学年) (認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた)	県	94.2	94.8	94.8	95.6	96.3	95.7
	市	93.2	94.2	94.2	94.8	93.9	95.5
先生は相談にのってくれた (前学年) (のってくれた・どちらかといえばのってくれた)	県	87.2	90.0	90.7	92.1	94.1	93.2
	市	84.6	86.4	87.4	91.0	91.6	93.3
友達は自分のよいところを認めてくれた (前学年) (認めてくれた・どちらかといえば認めてくれた)	県	85.3	90.0	92.5	93.7	94.2	94.6
	市	85.2	89.2	92.7	92.4	94.0	95.3
先生は授業やテストで分からなかったことなどを、分かるまで教えてくれた (前学年) (教えてくれた・どちらかといえば教えてくれた)	県	93.9	93.6	92.5	93.7	94.6	93.4
	市	91.9	91.3	90.3	92.2	93.2	92.8

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合 (%) ※ は県より上		小4	小5	小6	中1	中2	中3
授業の内容は、わかりましたか (よくわかった・どちらかといえばよくわかった)	県	90.0	91.8	92.3	91.8	87.2	86.2
	市	88.7	88.0	90.8	91.0	83.6	83.6
授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを理解したこと (よくあった・ときどきあった)	県	66.7	64.8	66.1	67.8	71.2	71.8
	市	61.4	56.5	58.6	59.1	65.0	67.1
グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したこと (よくあった・ときどきあった)	県	86.0	89.1	85.8	92.0	81.1	84.8
	市	83.8	86.0	86.1	90.7	79.5	81.2
土曜日や日曜日に、1日どのくらい勉強をしますか (1時間以上)	県	52.8	54.1	53.9	63.1	61.6	69.2
	市	49.8	50.3	52.7	60.0	63.0	66.9
塾(家庭教師も含む)で1週間どのくらい勉強をしますか (8時間以上)	県	13.6	12.6	11.4	12.2	14.0	23.2
	市	13.2	11.8	8.3	10.9	16.8	30.0
1か月に何冊くらい本を読みますか (3冊以上)	県	46.6	46.3	44.4	34.5	25.8	21.0
	市	40.1	40.8	44.7	31.5	22.5	19.0
テレビゲームや携帯電話(スマートフォン)を使う時の家族との約束は決めていますか(両方決めている)	県	33.6	33.3	33.6	38.3	33.4	28.6
	市	34.2	33.7	31.8	36.8	30.8	26.7
国語の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1~2回程度以上)	県	54.7	60.6	66.6	70.6	39.1	46.5
	市	49.0	59.1	59.3	63.3	6.7	14.0
算数・数学の授業でパソコンやタブレットを使っていますか (週1~2回程度以上)	県	35.5	37.2	47.7	50.5	29.6	32.5
	市	35.4	35.1	43.6	34.8	3.8	43.9
家でタブレットやパソコンなどでインターネットをどのくらい利用していますか (3時間以上)	県	16.0	25.2	26.3	27.7	26.3	22.9
	市	14.1	23.6	28.0	28.2	24.5	20.4

⑦質問紙調査

- 勉強する理由「勉強することが楽しい、好き」と回答した割合が、小4、小5、中3で県を上回っている。
- 「自分には、よいところがありますか」と回答した割合が、小6で県を上回っている。
- 「将来の夢や目標をもっていますか」と回答した割合が、小4で県を上回っている。
- 「(前学級の) 学級での生活は楽しかった」「(前学級の) 友達は自分のよいところを認めてくれた」は、9割程度の児童生徒が好意的な回答をしている。
- 「(前学級の) 先生は、自分のよいところを認めてくれた」「(前学級の) 先生は、授業やテストで分からなかつたことなどを分かるまで教えてくれた」は、8割程度の児童生徒が好意的な回答をしている。
- 「グループやペアで、話し合ったり、意見を出し合ったりして課題を解決した」と回答した割合が、小6で県を上回っている。
- テレビゲームや携帯電話（スマートフォン）を使う時は、家族と約束を決めて、よく守っていると回答している。
- 「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。
- 「今住んでいる県や市町村の歴史や自然に関心をもっている」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。
- 「授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかつたことを理解した」と回答した割合が、全学年で県を下回っている。
- 国語、算数・数学の授業で、パソコンやタブレットを週1～2回程度以上使っている割合は、全学年で県を下回っている。

【考察】

- 自己肯定感や自己実現に関わる問い合わせについて、県平均値を上回る学年が出てきており、引き続き、本市の重点として、児童生徒の自尊感情を高めていく指導を継続していく。
- 学級での生活や友人支援が高い傾向にあることを強みに、集団の良さを生かし、対話的な学びを通して、学力向上につなげていく。
- 振り返りの実施が少ない状況が課題であるが、主体的な学びを補完するものとして、学び方を自己調整し、学習内容の定着を図る視点をもって、継続的に実施していくことが求められる。

⑧規律ある態度

令和7年度「規律ある態度」結果（質問紙調査結果一覧）

			令和7年度						令和6年度						
			小4	小5	小6	中1	中2	中3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
○けじめのある生活ができる	1時刻を守る	① 登校時刻	県	93.3	93.9	94.4	97.7	96.6	96.1	93.5	94.2	94.3	98.0	96.6	95.9
			市	92.9	94.3	94.8	96.8	97.7	96.7	93.2	94.2	94.2	98.2	97.2	96.7
	2理身の整頓回りをする整	③ 靴そろえ	県	88.4	91.2	95.4	96.6	97.4	97.7	87.1	91.5	93.4	96.0	96.7	97.1
			市	87.5	88.8	95.6	94.1	97.0	96.5	85.5	89.2	89.7	95.5	97.3	96.8
	3るつ進やん返で事あをいさ	⑤ あいさつ	県	77.8	80.7	87.4	89.6	91.6	93.1	78.5	82.4	84.9	88.7	89.9	92.5
			市	76.6	78.3	87.2	86.5	91.7	93.0	78.8	82.0	82.8	88.1	90.8	94.3
○礼儀正しく人と接することができる	4に葉て付づいけかねるいいをな身言	⑥ 反事	県	81.4	78.1	80.2	72.6	74.8	74.9	73.8	76.8	76.0	75.2	78.0	80.2
			市	77.6	72.7	76.9	66.4	74.0	72.3	72.1	74.9	68.4	72.2	78.3	80.3
	5を学習のきまり	⑦ ていねいな言葉づかい	県	88.7	90.3	92.9	91.7	92.8	93.9	83.2	88.8	88.2	90.2	91.2	93.4
			市	85.9	88.0	92.7	91.3	92.7	94.4	75.8	87.5	82.9	90.5	92.2	94.6
	6を生活のきまり	⑧ やさしい言葉づかい	県	85.5	86.9	89.4	89.5	90.9	90.8	82.7	86.7	84.5	89.6	88.2	91.4
			市	85.1	85.0	88.1	87.0	90.8	89.9	77.9	85.8	79.9	89.5	88.9	90.0
○約束やきまりを守ることができます	9学習準備	⑨ 学習準備	県	82.4	85.9	89.7	92.8	93.6	94.3	80.4	85.7	86.2	91.6	91.7	93.9
			市	83.8	81.7	89.5	92.0	93.8	93.6	76.2	83.3	81.4	92.3	92.4	92.9
	10話を聞き発表する	⑩ 話を聞き発表する	県	83.8	83.2	83.7	83.4	83.3	85.4	77.7	79.2	76.0	79.4	79.1	82.1
			市	80.8	78.2	82.3	78.6	79.6	81.7	72.7	75.6	71.0	79.2	77.7	83.2
	11集団の場での態度	⑪ 集団の場での態度	県	82.9	84.6	87.8	92.0	93.1	94.8	88.3	88.5	86.7	93.6	94.7	96.3
			市	82.2	81.9	87.1	89.2	92.5	94.1	87.2	85.6	83.0	93.1	94.7	94.7
	12掃除・美化活動	⑫ 掃除・美化活動	県	87.7	87.3	88.9	87.7	88.0	89.2	89.5	89.6	87.9	88.0	87.5	89.1
			市	86.9	85.6	86.6	82.7	86.8	91.0	87.8	86.6	83.4	85.7	89.4	88.9

※ 表中の数字は、質問紙調査で児童が「できる」（「よくできる」「だいたいできる」の合計）と回答した割合（達成率）

※ 細掛けは80%以上、赤字は県を上回ったもの

- 全72項目（6学年、12項目）中、60項目において「できる・だいたいできる」と回答している割合が80%を超えている。
- 「登校時刻」「あいさつ」「返事」「ていねいな言葉づかい」「やさしい言葉づかい」「学習準備」「話を聞き発表する」は、3つ以上の学年で前年度の割合より高くなっている。
- 「登校時刻」以外は、多くの学年で県を下回っている。

【考察】

- 学校での生活態度は、おおむね良好である様子が見られ、日ごろの生徒指導の効果があるといえる。
- 整理整頓をはじめ、児童生徒の実態をとらえ、各校において根気強く指導を継続していく必要がある。

報告事項（3）資料

令和7年度富士見市いじめのない学校づくり子ども会議の報告について

1 実施日 令和7年7月22日（火）

2 会場 針ヶ谷コミュニティセンター

3 参加者

・来賓：市長、富士見市議会議長、いじめのない学校づくり委員会委員

・市役所関係者：教育長、教育委員、子ども未来部長、子育て支援課長、
子ども未来応援センター所長、教育部長、学校統括監、学校教育課職員
教育相談室長、教育相談室副室長

・学校関係者：学校長、担当教諭、市内小中学校の代表児童生徒

4 内容

市内小中学校の代表児童生徒が6年ぶりに一同に会し会議を行った。いじめのない学校づくりに向けて、各学校でこれまで行ってきた効果のあった取組について情報交換を行うとともに、小中学校で連携して取り組むことについて検討した。話し合いの内容を自校での取り組みに生かせるよう、一人一人が真剣に話し合いに参加していた。



【集合写真】

《当日の流れ》

（1）開会セレモニー

（2）ディスカッション（小学校3グループ・中学校2グループに分かれて協議）

（3）中学校区に分かれて協議

テーマ「子ども宣言を振り返り、いじめのない学校づくりに向けて」

～まわりで起きるいじめをなくすために、何ができるか考えよう～

話し合い①まわりで起きるいじめをなくすために、何ができるか考えよう。

話し合い②中学校区で共通して取り組みたいものを決めよう。

（4）話し合った内容の報告（中学校区ごと）

（5）閉会セレモニー

5 今後の取組

今回、話し合った中で出てきた「いじめを他人ごとにしない・させない」「見ているだけでなく、支える気持ちをもつ」等のキャッチフレーズや「あいさつ運動」「レクリエーション」等のいじめをなくすための取組を基に、各学校において一人ひとりが当事者意識をもった取組に広げていく。



【中学校区ごとの話し合いの様子】

報告事項（4）資料

令和7年度イングリッシュサマーキャンプ及び英検補助金の取組状況について

1 イングリッシュサマーキャンプ

（1）概要

対象：市内在住かつ在学の小学3・5年生

会場：ふじみ野交流センター、鶴瀬西交流センター

開催方法：午前コース（9:30～12:00）と午後コース（14:00～16:30）
に分け2日間にわたり開催

開催日時：3年生（7月24・25日、30・31日）、5年生（7月28・29日）

内容：AETを講師として、英語のみでの会話やゲーム、クイズや工作などを通じて、英語に親しむ。

参加費：3年生（200円）、5年生（500円）

（2）参加状況

	募集人数	応募人数	決定人数	実参加人数
3年生	80名	79名	79名	73名
5年生	40名	52名	40名	36名

（3）主な成果と課題

児童は、ゲームや工作等の様々なアクティビティを通じて、7名のAETとともに楽しみながら英語に触ることができた。アンケートからは「また参加したい」、「楽しんで英語を話すことができた」など、肯定的な意見が多く、高い満足度が得られ、英語学習への意欲やコミュニケーション能力の向上に繋がった。エアコンの効いた室内の活動ではあるが、体を動かす場面も多いことから、熱中症対策には引き続き注意が必要である。

（4）活動の様子



【グリーティング】



【ポイントゲーム】



【カード釣りゲーム】

2 英語検定補助金について

（1）概要

対象：市内在住又は在学の小学6年生（5級以上）、中学1年生（4級以上）

中学2・3年生（3級以上）※令和5年度より対象拡大

内容：児童生徒1人につき、受検費用1,000円補助（同一年度内に1回まで）

（2）申請実績（令和5年度～令和7年度）※令和7年度は、令和7年8月31日現在

	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
令和5年度	47名	54名	56名	72名
令和6年度	67名	34名	54名	57名
令和7年度	17名	9名	10名	37名

（3）主な成果と課題

中学校3年生レベルの3級にとどまらず、準2級、2級、準1級の上位の級に挑戦する生徒が増えてきた。全体での申請実績は伸びていないため、来年度に向けて制度設計を見直し、児童生徒、保護者の英語学習への意欲向上につなげていきたいと考える。

第3回小学生ロボコン・富士見市大会について

1 概要

目的：小学校で実践しているＳＴＥＭ教育で身に付けた課題解決力や論理的思考力、創造性などを活用する機会を提供することで、さらなる学習意欲の向上や課題解決力等の育成をする。

対象：市内在住・在学の小学生

開催方法：小学生ロボコン2025全国共通予選会のルールに則り、競技を行い、得点を競う。1位の児童は、小学生ロボコンの全国大会出場の権利が得られる。

表彰：得点によって決まる1～3位、ロボットのアイデア等によって決まる市長賞、教育長賞、デザイン賞、機構賞。

開催日時：令和7年8月30日（土）10時～13時15分

会場：富士見市立総合体育館 2階 サブアリーナ

参加費：1,000円

2 大会の様子

① ルール（ミッション）

自作のロボットを使って指定の競技フィールドの中でミッションの達成を目指す。

今年のミッション

Great Big Bridge (ぐれーと・びっぐ・ぶりっじ)

選手のみなさんは、ロボットを操縦して、フィールドに散らばっている土台や橋を組み合わせて、より大きな橋をかけることがミッションです。

ロボットはスター島から出発！港ゾーンにある動く土台を運んだり、橋倉庫にある橋を運んだり、土台にのせたりして、橋をかけていきます。

海ゾーンやスター島から遠くはなれたネクス島ゾーンにある固定土台に橋をかけたり、たくさんの橋と土台をつかって、みんながおどろく大きな橋をかけたりすると、より高い点数（得点）を獲得できるチャンスがあります。

制限時間は2分、ミッションをクリアするためのロボットや作戦を考えて、競技にチャレンジしてみよう！

※ 土台（紙コップ）を運ぶこと、その土台に橋（割りばし）をかけることで得点になります。

② 参加者の様子

スタート時



競技中



採点時



③ 参加状況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
説明会参加人数	42名	54名	26名
申込人数	42名	51名	34名
参加人数	27名	34名	28名
初参加人数	27名	21名	15名

④ ロボットの様子

【優勝ロボット】



ペンギンに模したロボットのくちばしが上下することで、くちばしの中に紙コップが収まり、安定した状態で運ぶことができていた。

【教育長賞ロボット】



ピンク色の鳥をイメージした外装だけでなく、土台（紙コップ）をしっかりと掴むための爪を作成していた。

【機構賞ロボット】



土台の上にベルトコンベアの機構を使って橋（割りばし）をスムーズに乗せるアイデアが光っていた。

【市長賞ロボット】



橋を架ける時に中央の台が上下する機構になっていて安定して橋を架けることができた。

3 主な成果と課題

〈成果〉

- 参加者それぞれが、得点を取るためにどうしたらよいかアイデアを練り、それを実現させるための機構を工夫しただけでなく、自分の気に入ったデザインのロボットを作ったり、操作しやすいロボットにしたりするために試行錯誤した結果を見ることができた。
- 参加者の15人が小学生ロボコン初出場であったが、それぞれのアイデアを生かしたロボットを作り、競技を楽しむことができた。
- 競技終了後、参加者同士が作成したロボットを見合う時間を作り、お互いにロボットの動作を見たり、機構やデザインについて質問したりするなどして交流することができた。

〈課題〉

- 昨年と比べ申込人数及び参加人数が減少しているので、参加したくなるような動機付けが必要である。
- 説明会に参加しただけでは大会に出場できるロボットを作るまでには至らず、申し込みを辞退した児童もいた。参加したい意欲を生かすことができるようなサポートの在り方も検討する必要がある。

報告事項（6）資料

その他

- ・社会科展の開催について